

SINGULAR SOUND

MIDI Maestro



オペレーション マニュアル

確認事項	3
はじめに	4
電源.....	5
MIDI 接続.....	6
Bluetooth 接続	7
初めての使用	8
メニュー	8
MIDI Maestro の動作	10
モード	10
ボタン	10
コマンド.....	10
ページ	10
モード.....	12
MIDI Maestro スマートフォンアプリ.....	17
メイン画面	17
MM App メニュー	18
MIDI Maestro ファームウェアを更新する.....	19
MIDI Maestro のデフォルトモードを更新する	19
カスタムモード.....	19
マイカスタムモード画面	21
ページ、スロット、およびボタンのレイアウト.....	21
ボタンの設定	23
マイコマンド画面	24
コマンド編集	25
既存のコマンドの編集.....	28
コマンドリストの編集.....	29
MIDI Maestro へのアップロード	31
仕様.....	35

確認事項

すべての最新機能を利用するには、最新のファームウェアバージョンをインストールする必要があります。MIDI Maestro のファームウェアバージョンを確認するには、背面パネルの MODE(モード) ボタンを押してメインメニューに移動します。ファームウェアバージョンは左下の画面に表示されます。このマニュアルの執筆時点では、1.1.4 です。

最新のファームウェアをお持ちでない場合は、MIDI Maestro アプリからダウンロードして、更新されていることを確認してください。Google Play ストア、もしくは App Store で無料ダウンロードできます。「Singular Sound MIDI Maestro」で検索してください。

はじめに

MIDI Maestro を使えば、あなたの足元でフルパワーの MIDI コントロールを活用できます。MIDI コマンドをどのように配置するかを正確に選択し、最大 16 の MIDI チャンネルを個別にコントロールすることにより、セットアップを最大限に活かすことができます。MIDI Maestro の各ボタンの機能は、MIDI Maestro スマートフォンアプリで編集できます。Google Play ストア、もしくは App Store で無料ダウンロードできます。「Singular Sound MIDI Maestro」で検索してください。

BeatBuddy や Aeros Loop Studio をすでに使っている方には朗報です。MIDI Maestro には、各ユニットにデフォルトモードが組み込まれており、プラグアンドプレイですぐに利用できます。



1. 電源ポート (9V: センターマイナス)
2. 電源ボタン
3. 外部ペダル(スイッチ)入力
4. エクスプレッションペダル入力
5. ペアリングボタン
6. モードボタン
7. MIDI IN
8. MIDI OUT

電源

MIDI Maestro は 9V、500mA センターマイナスの電源を使用します。9V を超える電源を使用したり、AC 電源に直接接続したりすると、MIDI Maestro が破損し、保証は無効になるのでご注意ください。MIDI Maestro を安全に使用するために、必ずご確認のうえお使いください。

MIDI Maestro を使用するには、パワーサプライの性能が、最低 300mA (0.3 アンペア) の電流が必要です。センターがプラスの電源アダプターでは、MIDI Maestro の電源はオンになりません。安全に使用いただくために、MIDI Maestro には 9V、500mA センターマイナスの電源アダプター(付属品)をお使いください。

ペダルボードの電源を使用する場合

ペダルボードで、一括してすべてのペダルに電力を供給するパワーサプライを使用する場合、MIDI Maestro の電源プラグを差し込む前に、供給されるのは 9V でセンターマイナスであることを確認してください。

ペダルボードの電源に MIDI Maestro に電力を供給するのに十分な電流(アンペア)が確保されるかを計算するには、他のペダルに必要なすべてのアンペアを合計します。合計アンペアを確認するには、通常はペダルの下部に記載されているので合算します。単位は次の通りになるので覚えておくと良いでしょう。<1000 mA [ミリアンペア] = 1.0 A [アンペア]>。

そして、MIDI Maestro が必要な 0.3 アンペアを足した合計がパワーサプライで生成できるアンペアよりも多い場合、例えばすべてのペダルと MIDI Maestro の合計は 2.5 アンペアで、パワーサプライでは 2.0 アンペアしか生成できないという場合、十分な電力が利用できないため、MIDI Maestro はオンにならず、他のペダルもオンになりません。

注意: MIDI Maestro (デジタルペダル) をアナログペダル(ほとんどのエフェクトペダル)と同じ電源に接続すると、アナログペダルの音にノイズ干渉が発生する可能性があります。このような場合は、MIDI Maestro 用に別の電源を使用してください。

MIDI 接続

MIDI Maestro は、MIDI の「マスター」デバイスとして機能します。つまり、接続されている他のすべてのユニットをコントロールするユニットということです。MIDI Maestro をマスターとして使用するには、標準の 5 ピンオス-オス MIDI ケーブルを MIDI Maestro の MIDI OUT ポートに接続します。次に、そのケーブルを MIDI デイジーチェーン内の次のデバイスの MIDI IN ポートに接続します(ユニットは MIDI を介して順次接続されます)。

MIDI Maestro は、MIDI IN ポートに入ってくるすべての MIDI コマンドを OUT ポートに渡します。これは MIDI スルーと呼ばれます。MIDI Maestro は、技術的には MIDI マージを使用して動作し、生成したコマンドと(MIDI IN から)受信したコマンドの両方を、OUT ポートを介して送信します。



これは、MIDI Maestro を使用した典型的なセットアップの例です。

Bluetooth 接続

MIDI Maestro は、MIDI Maestro スマートフォンアプリと接続して、MIDI Maestro ファームウェアを更新し、MIDI Maestro のデフォルトモードを更新したり、カスタムモードを更新/追加したりすることができます。MIDI Maestro のフロントパネルの上部にある小さな青いライトが点滅し始めるまで、背面パネルのペアリングボタンを押し続けます。ライトが点灯したら、Bluetooth 接続が確立されていることを意味します。

MIDI Maestro は、MIDI BLE(または MIDI BLE)対応デバイスでも動作します。例えば、On Song などのアプリ内で BLE MIDI デバイスとして機能するために、Bluetooth デバイスとしてスマートフォンを MIDI Maestro とペアリングする必要はありません。

初めての使用

背面パネルのオン/オフボタンを押して MIDI Maestro をオンにすると、ブルーの LED 画面が点灯し、次のように表示されます。



メニュー

MIDI Maestro メニューは、6つのボタンのいずれかを押すことでナビゲートされます。

- ・Custom Mode(左上)-アップロードされたカスタムモードが開きます。これらのモードは作成され、MIDI Maestro アプリを介して MIDI Maestro にアップロードされます。
 - ・BeatBuddy モード(中央上部)-Singular Sound の BeatBuddy でプラグインして再生するためのビルトインのデフォルトモードです。
 - ・Aeros モード(右上)-プラグアンドプレイ用のビルトインのデフォルトモードは、Singular Sound のエロスループスタジオで使用します。
 - ・ファームウェアバージョン(左下)-ユニットにロードされている現在の MIDI Maestro ファームウェアを表示します。現在のファームウェアバージョンは 1.1.4 です。
 - ・Cancel(中央下)-最後に使用したモード(Aeros モード/ BeatBuddy Mode /カスタムモード)を再度開きます。
 - ・Calibrate Ext Pedal(右下)-これにより、外部エクスペリメンタルペダルを設定するためのダイアログが開きます。下記「外部ペダルのキャリブレーション」を参照してください。
- 左下画面のファームウェアバージョン番号が 1.1.4 未満の場合は、次の手順でファームウェアを更

新してください。

本体背面パネルのペアリングボタンを押し続けると、MIDI Maestro がペアリングモードになります。MIDI Maestro スマートフォンアプリ(これを MM アプリと呼びます)を開き、左上のメニューボタンを押します。



「Update Firmware」を押して、MIDI Maestro ファームウェアを更新します。完了したら「Update Default Modes」を押して MIDI Maestro のデフォルトモードを更新します。必ずこの順序で行ってください。

外部ペダルのキャリブレーション

エクスプレッションペダルを Expression Pedal ジャックに接続します。まず、ペダルを最大に設定し、「Set Pedal to Max & Press」(右下)を選択してから、同様の手順で最小を設定します。次に、「Re-calibrate」(右上)または「Confirm and Exit」(右下)のいずれかを選択して、最後に使用したモード(Aeros モード/ BeatBuddy モード/カスタムモード)に戻ります。このプロセス中に「Exit / Cancel」(左下)を選択してキャンセルし、最後に使用したモードに戻るオプションも用意されています。

MIDI Maestro の動作

モード

MIDI Maestro は「モード」で統合されています。モードは、MIDI Maestro の MIDI コマンドの特定の構成です。BeatBuddy モード、Aeros モード、カスタムモードの 3 つのモードがあります。MIDI Maestro の 6 つのフットスイッチボタンの 1 つを押すと、MIDI コマンドを送信します。各ボタンの上の画面には、そのボタンが送信するコマンドを説明するテキストが表示されます。

ボタン

6 つのボタンにはそれぞれ、押されたときと放されたときの 2 つの物理的な状態があります。MIDI コマンドは、ボタンを押したとき、放したとき、またはその両方のときに送信できます。ここでは、シミュレーションに説明するために、ボタンを 1 回押して放すことを「ボタンアクション」と呼びます。

この「ボタンアクション」という考え方が役立つのは、BeatBuddy モードを使用する場合です。例えば「パート 2」というラベルの付いたフットスイッチボタンを押すと、曲のパート 2 への移行を開始するコマンドが送信され、ボタンを放すと移行を完了するためのコマンドが送信されます。したがって、ボタンを放さずボタンを押し続けることで、トランジションを延長できます。

コマンド

コマンドは、MIDI Maestro からスレーブされている MIDI デバイスに送信される特定の MIDI メッセージ (CC、PG、PB、ノートオン/オフなど) です。MIDI コマンドは、MIDI ケーブル経由、および/または MIDI BLE (Bluetooth Low Energy) 経由のワイヤレスで送信できます。このコマンドは、スレーブデバイスの動作から、音量やパンなどのパラメータの設定まで、さまざまな変更を加えることができます。MIDI Maestro の各ボタンは、押したとき最大 8 つの異なる MIDI コマンドを持ち、放したときさらに 8 つ、つまりボタンごとに最大 16 のコマンドを持つことができるということです。

ページ

モードは「ページ」で統合されています。各ページは 6 つのボタンで構成されています (MIDI Maestro 画面に表示されます)。「ページ」を変更すると、画面の表示が変更され、ボタンが送信するコマンドも一緒に変更されます。カスタムモードでは最大 10 ページまで使用できます。フットスイッチを使用してページをナビゲートできます。ボタンには「redirect」コマンドをコーディングすることもできます。つまり、そのフットスイッチボタンを押すと、現在のモードの現在のページも変更されま

す。例えば、Aeros モードでは、「2x2 Commands -->」というフットスイッチボタンを押すと、Maestro がすべての 2x2 コマンドを含むページにリダイレクトされます。デフォルトモードでは、通常、「->」(入力)または「<-」(終了)記号を含めて、このボタンに直接コマンドがコード化されていることを示します。

外部フットスイッチ

TRS(チップ-リング-スリーブ)1/4 インチコネクタを使用するモーメンタリスイッチ(Singular Sound Footswitch +(別売り)など)を使用します。フットスイッチの左右のボタンを使用して、MIDI Maestro のページをいずれかのモード(Aeros モード/BeatBuddy モード/カスタムモード)を 1 回ナビゲートできます。左のフットスイッチボタンを押すと次のページに移動し、右のボタンを押すと前のページに移動します。メインメニューでは、外部フットスイッチでは何もできません。フットスイッチを使用してページをスクロールすると、MIDI Maestro foot switch ボタンの 1 つを使用して新しいページにリダイレクトする必要がなくなります。

フットスイッチの種類-純正の Singular Sound Footswitch +(別売り)を使用することを強くお勧めします。Footswitch +を使用していない場合は、サードパーティのフットスイッチが MIDI Maestro と互換性があることを確認してください。MIDI Maestro は、TRS $\frac{1}{4}$ インチ出力を備えた標準のモーメンタリデュアルフットスイッチと互換性があります(1 つのスイッチは左チャンネルに接続され、もう 1 つは右チャンネルに接続されます)。ABY(セレクター系)スイッチとは互換性がありません。

ヒント

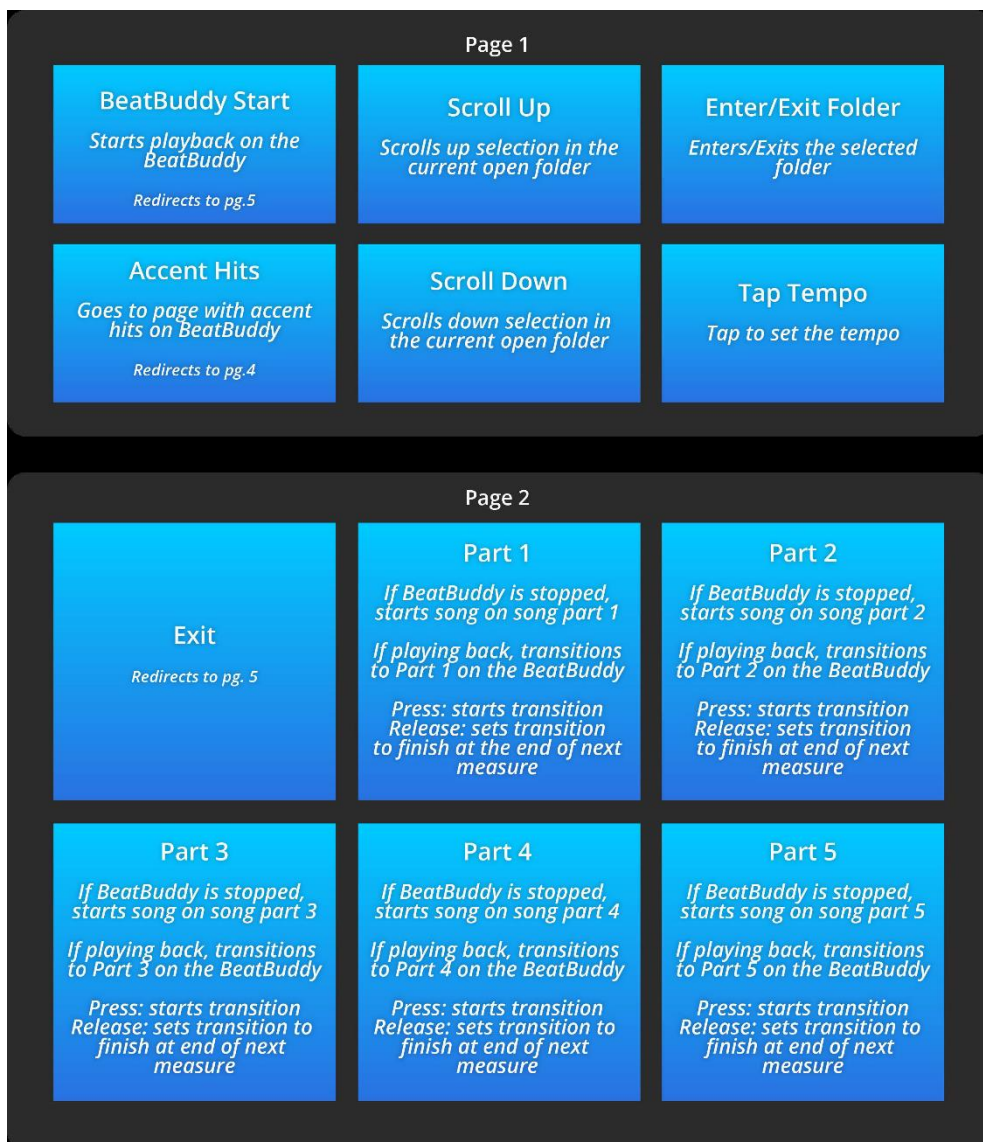
- ・下の中央ボタンと下の右ボタンを押し続けると、「クラッチモード」に入り、MIDI メッセージを送信せずにエクスペッションペダルを新しい位置に動かすことができます。エクスペッションペダルの位置をリセットしたい場合に便利です。
- ・下の左ボタンと下の中央ボタンの両方を同時に押し続けると、MIDI Maestro がハンズフリーでメインメニューに戻るため、すぐにモードを変更できます。
- ・ボタンを 1 つだけ使用して、異なる MIDI チャンネル(1~16)の複数のユニットに複数のコマンドを送信できます。つまり押したときに最大である 8 つのコマンド、放すとこれも最大である 8 つのコマンドを送信できます。各 MIDI コマンドは、異なるデバイスをコントロールするために別々のチャンネルで送信できます。これは、1 ページあたり最大 96 コマンドです。
- ・フットスイッチボタンを押した後、アクションを開始して完了したいという場合、1 つのコマンドを押して送信し、もう 1 つのコマンドを放して送信するように設定できます。これは BeatBuddy モードでのトランジションできる仕組みと同じです。

モード

このセクションでは、デフォルトモード、BeatBuddy モード、および Aeros モードで使用できるさまざまなコマンドについて詳しく説明します。これらのモードは、Singular Sound BeatBuddy や Aeros Loop Studio を MIDI Maestro で使用する際のプラグアンドプレイ体験に最適です。

フットスイッチボタンには、押すと最大 8 つのコマンドがあり、リリース BeatBuddy モードでは最大 8 つのコマンドがあることに注意してください。

BeatBuddy モード



The image displays a grid of command cards for BeatBuddy Mode, organized into two pages. Each card contains a command name, a brief description of its function, and any specific transition or redirection details.

Page 1		
BeatBuddy Start <i>Starts playback on the BeatBuddy</i> <i>Redirects to pg.5</i>	Scroll Up <i>Scrolls up selection in the current open folder</i>	Enter/Exit Folder <i>Enters/Exits the selected folder</i>
Accent Hits <i>Goes to page with accent hits on BeatBuddy</i> <i>Redirects to pg.4</i>	Scroll Down <i>Scrolls down selection in the current open folder</i>	Tap Tempo <i>Tap to set the tempo</i>

Page 2		
Exit <i>Redirects to pg. 5</i>	Part 1 <i>If BeatBuddy is stopped, starts song on song part 1</i> <i>If playing back, transitions to Part 1 on the BeatBuddy</i> <i>Press: starts transition</i> <i>Release: sets transition to finish at the end of next measure</i>	Part 2 <i>If BeatBuddy is stopped, starts song on song part 2</i> <i>If playing back, transitions to Part 2 on the BeatBuddy</i> <i>Press: starts transition</i> <i>Release: sets transition to finish at end of next measure</i>
Part 3 <i>If BeatBuddy is stopped, starts song on song part 3</i> <i>If playing back, transitions to Part 3 on the BeatBuddy</i> <i>Press: starts transition</i> <i>Release: sets transition to finish at end of next measure</i>	Part 4 <i>If BeatBuddy is stopped, starts song on song part 4</i> <i>If playing back, transitions to Part 4 on the BeatBuddy</i> <i>Press: starts transition</i> <i>Release: sets transition to finish at end of next measure</i>	Part 5 <i>If BeatBuddy is stopped, starts song on song part 5</i> <i>If playing back, transitions to Part 5 on the BeatBuddy</i> <i>Press: starts transition</i> <i>Release: sets transition to finish at end of next measure</i>

Page 3		
<p>Exit</p> <p><i>Redirects to pg. 5</i></p>	<p>Double Time/Normal Time</p> <p><i>The BeatBuddy enters Double Time mode at the next measure</i></p> <p><i>Toggle: Normal Time</i></p>	<p>Enter/Exit Folder</p> <p><i>Enters/Exits the selected folder</i></p>
<p>Tap Tempo</p> <p><i>Tap to set the tempo</i></p>	<p>Half Time/Normal Time</p> <p><i>The BeatBuddy enters Half Time mode at the next measure</i></p> <p><i>Toggle: Normal Time</i></p>	<p>Tempo Down 1 BPM</p> <p><i>Decreases the BeatBuddy tempo by 1 BPM</i></p>

Page 4		
<p>Exit</p> <p><i>Redirects to pg. 5</i></p>	<p>Clap</p> <p><i>Plays Clap accent hit</i></p>	<p>Tambourine</p> <p><i>Plays Tambourine accent hit</i></p>
<p>Hi-Hat Closed</p> <p><i>Plays Hi-Hat Closed accent hit</i></p>	<p>Snare</p> <p><i>Plays Snare accent hit</i></p>	<p>Kick</p> <p><i>Plays Kick accent hit</i></p>

Page 5		
<p>Stop</p> <p><i>Stops BeatBuddy playback.</i></p> <p><i>Redirects to pg. 1</i></p>	<p>Previous Part</p> <p><i>Transitions to the previous part on the BeatBuddy on the following measure</i></p>	<p>Next Part</p> <p><i>Transitions to the next part on the BeatBuddy on the following measure</i></p>
<p>Accent Hits</p> <p><i>Goes to the BeatBuddy mode page with Accent Hits</i></p> <p><i>Redirects to pg. 4</i></p>	<p>Select Part</p> <p><i>Goes to the BeatBuddy mode page with song parts 1-5</i></p> <p><i>Redirects to pg. 2</i></p>	<p>Tempo</p> <p><i>Goes to the BeatBuddy mode page with song parts 1-5</i></p> <p><i>Redirects to pg. 3</i></p>

AEROS モード

Page 1

AEROS Looper Save Song

Saves to current open song from the Loop Studio screen or the Song Settings menu

2x2 Commands

Opens the AEROS Mode page with 2x2 commands

Redirects to pg. 5

New 2x2 Song

Starts a new 2x2 song with the last used song settings applied

Redirects to pg. 5

Songs List

Opens the Songs List screen

Redirects to pg. 6

6x6 Commands

Opens the AEROS Mode page with 6x6 commands

Redirects to pg. 4

New 6x6 Song

Starts a new 6x6 song with the last used song settings applied

Redirects to pg. 4

Page 2

Play Part 1

If AEROS is stopped, selects the song part on the press

If AEROS is in playback, begins transition to part 1 on the AEROS following AEROS Change Part rules (press)

If that song part is blank, it will start recording

Redirects to pg. 4

Play Part 2

If AEROS is stopped, selects the song part on the press

If AEROS is in playback, begins transition to part 2 on the AEROS following AEROS Change Part rules (press)

If that song part is blank, it will start recording

Redirects to pg. 4

Play Part 3

If AEROS is stopped, selects the song part on the press

If AEROS is in playback, begins transition to part 3 on the AEROS following AEROS Change Part rules (press)

If that song part is blank, it will start recording

Redirects to pg. 4

Play Part 4

If AEROS is stopped, selects the song part on the press

If AEROS is in playback, begins transition to part 4 on the AEROS following AEROS Change Part rules (press)

If that song part is blank, it will start recording

Redirects to pg. 4

Play Part 5

If AEROS is stopped, selects the song part on the press

If AEROS is in playback, begins transition to part 5 on the AEROS following AEROS Change Part rules (press)

If that song part is blank, it will start recording

Redirects to pg. 4

Play Part 6

If AEROS is stopped, selects the song part on the press

If AEROS is in playback, begins transition to part 6 on the AEROS following AEROS Change Part rules (press)

If that song part is blank, it will start recording

Redirects to pg. 4

Page 3

Exit

Redirects to pg. 5

Mute/Unmute Track 1

Toggles between muting and unmuting Track 1 on AEROS following the AEROS muting rules

Mute/Unmute Track 2

Toggles between muting and unmuting Track 2 on AEROS following the AEROS mutng rules

Mute/Unmute Track 3

Toggles between muting and unmuting Track 3 on AEROS following the AEROS muting rules

Mute/Unmute Track 4

Toggles between muting and unmuting Track 4 on AEROS following the AEROS muting rules

Mute/Unmute Track 5

Toggles between muting and unmuting Track 5 on AEROS following the AEROS mutng rules

Page 4

Exit 6x6 Commands

Redirects to pg. 1

Play Parts 1-6

Opens the AEROS Mode page with Play Part commands

Redirects to pg. 2

Mute/Unmute Track 1-5

Opens the AEROS Mode page with Play Part commands

Redirects to pg. 3

Undo/Redo

Undoes/Redoes last recorded layer of selected track

Record New Song Part

Records on a new song part following the AEROS Change Part rules (press)

Record New Track

Records on a new track following the AEROS Start and Length rules (press)

Page 5

Exit 2x2 Commands

Redirects to pg. 1

Undo/Redo Bottom Track

Undoes/Redoes last recorded layer of bottom track

Undo/Redo Top Track

Undoes/Redoes last recorded layer of top track

Stop Now

Immediately stops the AEROS playback (press)

Mute/Unmute Bottom Track

Mutes/Unmutes bottom track following the AEROS muting rules

Mute/Unmute Top Track

Mutes/unmutes top track following the AEROS muting rules



カスタムモード

必要な MIDI マッピングを作成またはダウンロードする必要があります。次のセクション、MIDI Maestro スマートフォンアプリを読んで、MM アプリを使用してカスタムモードを作成する方法を学習してください。

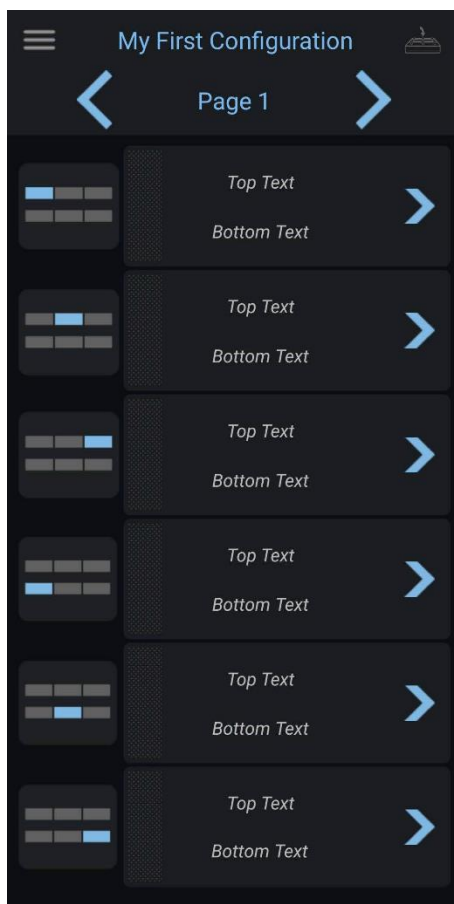
MIDI Maestro スマートフォンアプリ

はじめに


まず、無料の MIDI Maestro スマートフォンアプリをダウンロードします(略して MM アプリと呼びます)。「Singular Sound MIDI Maestro」と検索すると、Google Play ストアや App ストアでアプリを見つけることができます。

ダウンロードが終わると、すでにカスタマイズプロセスを開始する準備ができています。アプリをダウンロード/使用する前に、お使いのスマートフォンが最新のバージョンになっているか確認してください。アプリは「位置へのアクセス」を許可するように求めてきますが、必ず許可にしてください。これは、BLE(Bluetooth Low Energy)プロトコルで必要なだけで、その他のプライバシーは守られません。アプリの使用中に、位置データは保存されないのご安心ください。

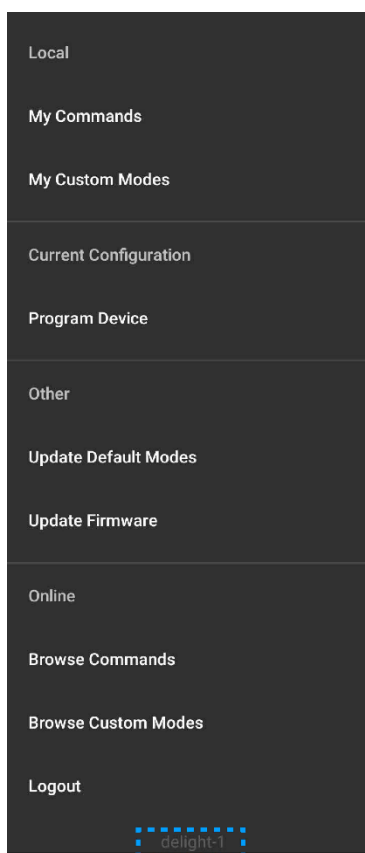
メイン画面



これが MM アプリのメイン画面です。この画面から、ボタンレイアウトを編集できます。

アプリの他の部分にアクセスしたり、現在のファームウェアバージョンを確認したりするには、Menu ボタンを押します。

画面の下部に、アプリのバージョンが灰色のテキストで表示されます。



MM App メニュー

My Commands-My Commands 画面を開いて、ローカルに保存されているすべてのコマンドを編集、削除、または共有できます。

My Custom Mod-My Custom Mode 画面を開いて、ローカルに保存されているすべてのカスタムモードを開いたり、名前を変更したり、削除したり、共有したりします。

Program Device-MM アプリで開いているカスタムモードをアップロードします(動作するには、Bluetooth 経由で MIDI Maestro に接続する必要があります)。

Update Default Modes-MIDI Maestro のデフォルトモードを更新します(動作するには、Bluetooth

経由で MIDI Maestro に接続する必要があります)。

Update Firmware-MIDI Maestro のファームウェアを更新します(動作するには、Bluetooth 経由で MIDI Maestro に接続する必要があります)。

Browse Commands-オンラインコマンドライブラリを開きます。これは、他のユーザーが共有するコマンドのリストです。

Browse Custom Modes-オンラインカスタムモードライブラリを開きます。これは、他のユーザーが共有するカスタムモードのリストです。

MIDI Maestro ファームウェアを更新する

アプリが最新であることを確認したら、MIDI Maestro の背面パネルにあるペアリングボタンを押したままにしてペアリングモードに入ります(スマートフォンの Bluetooth を有効にしておく必要があります)。MIDI Maestro のフロントパネルの上部にあるブルーライトが点滅したら、MM アプリメニューの Update Firmware を押して、MIDI Maestro ファームウェアを更新します。最新の状態になっている場合、アプリは更新をキャンセルし、すでに最新の状態になっていることを通知します。

MIDI Maestro のデフォルトモードを更新する

注意: デフォルトモードを更新する前に、必ずファームウェアを更新してください。

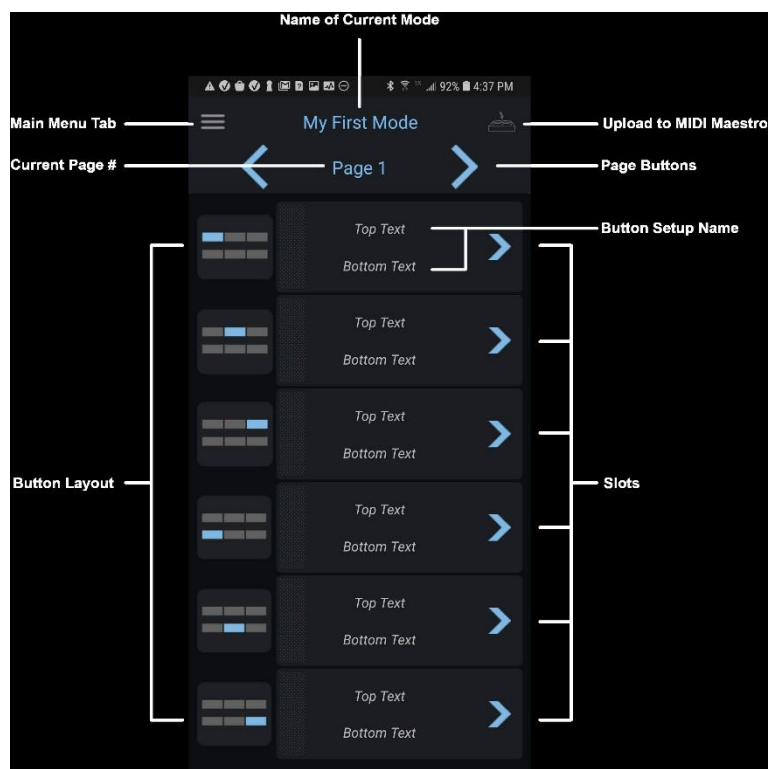
MIDI Maestro のデフォルトモードを変更する場合があります。最新バージョンを使用していることを確認するには、MM app メニューの Update Default Modes をクリックします。

最新になっている場合、アプリは更新をキャンセルし、すでに最新であることを通知します。両方が最新であることを確認したら、電源を入れ直してから(電源をオフにしてから再びオンにします)、MIDI Maestro でアップデートを完成させます。

カスタムモード

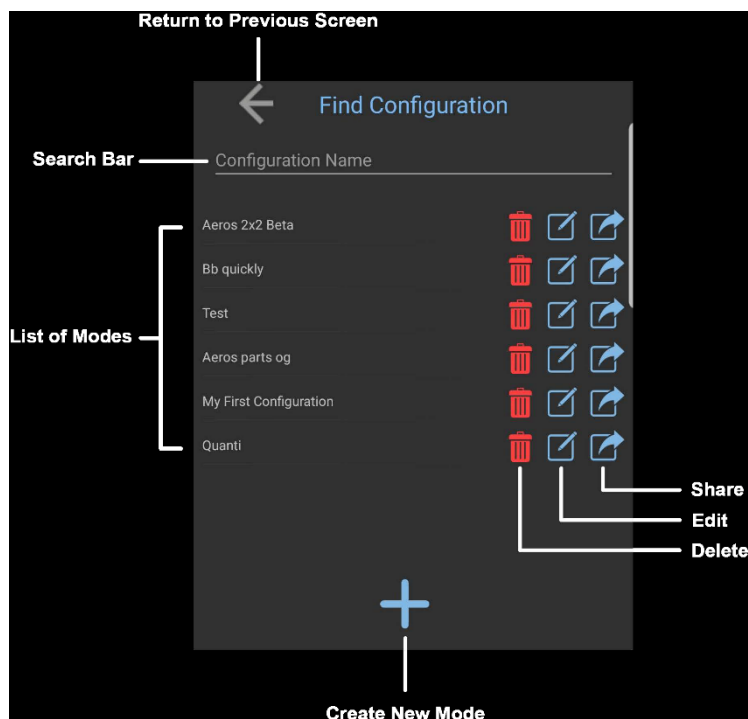
注意: カスタムモードをアップロードする前に、必ずファームウェアとデフォルトモードを更新してください。

MM アプリを使用すると、MIDI Maestro で使用する独自のカスタムモードにコマンドの構成を作成できます。各 MIDI Maestro ページのすべてのボタンをプログラムできます。カスタムモードには最大 10 ページを含めることができます。



ローカルに保存されたカスタムモードは、メインメニューからアクセスできる My Custom Modes 画面でアクセスして作成できます。

マイカスタムモード画面



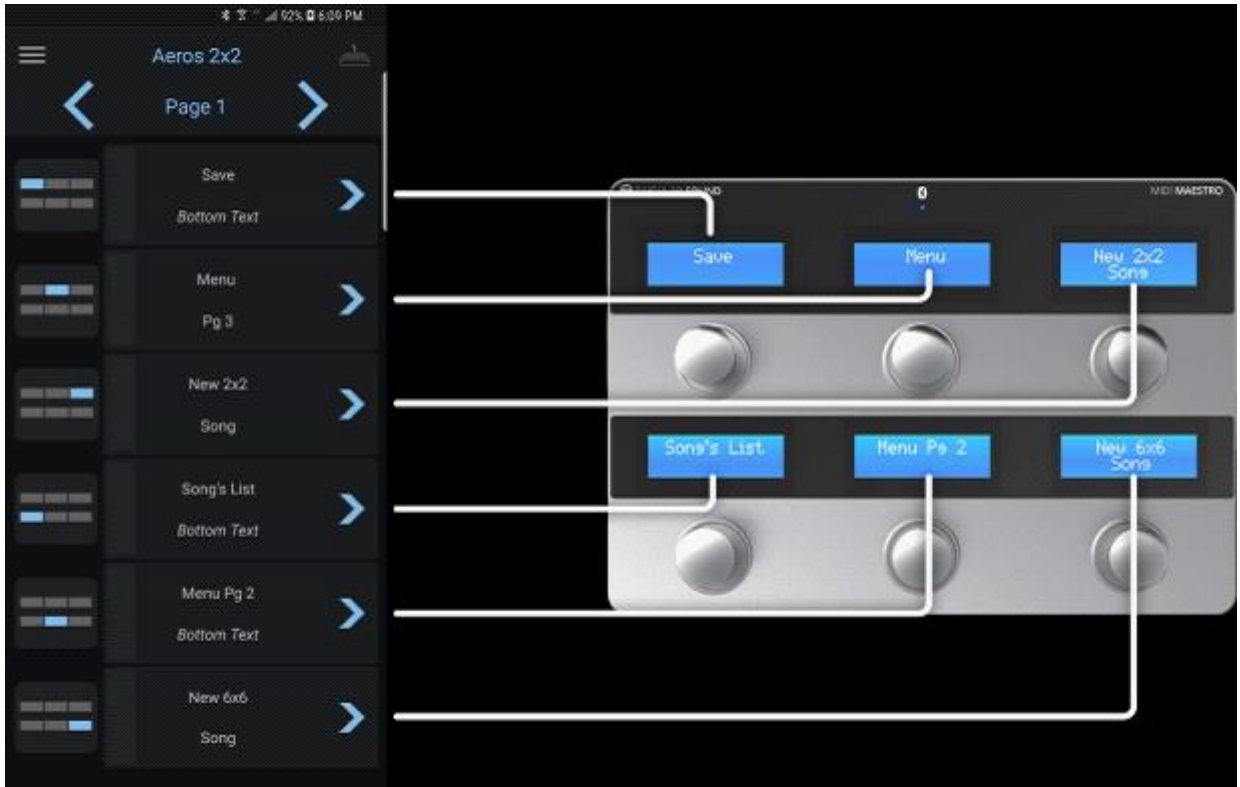
この画面から、ローカルに保存されているすべてのカスタムモードを削除、編集、共有、検索できます。ダウンロードしたすべてのモードがここに表示されます。

アプリは最初の空白のモードで自動的に開きます。これは「マイファーストモード」と呼ばれます。メインメニューを使用して[マイカスタムモード]画面に移動すると、後でこの名前を変更したり、削除したり、新しい名前を作成したりできます。

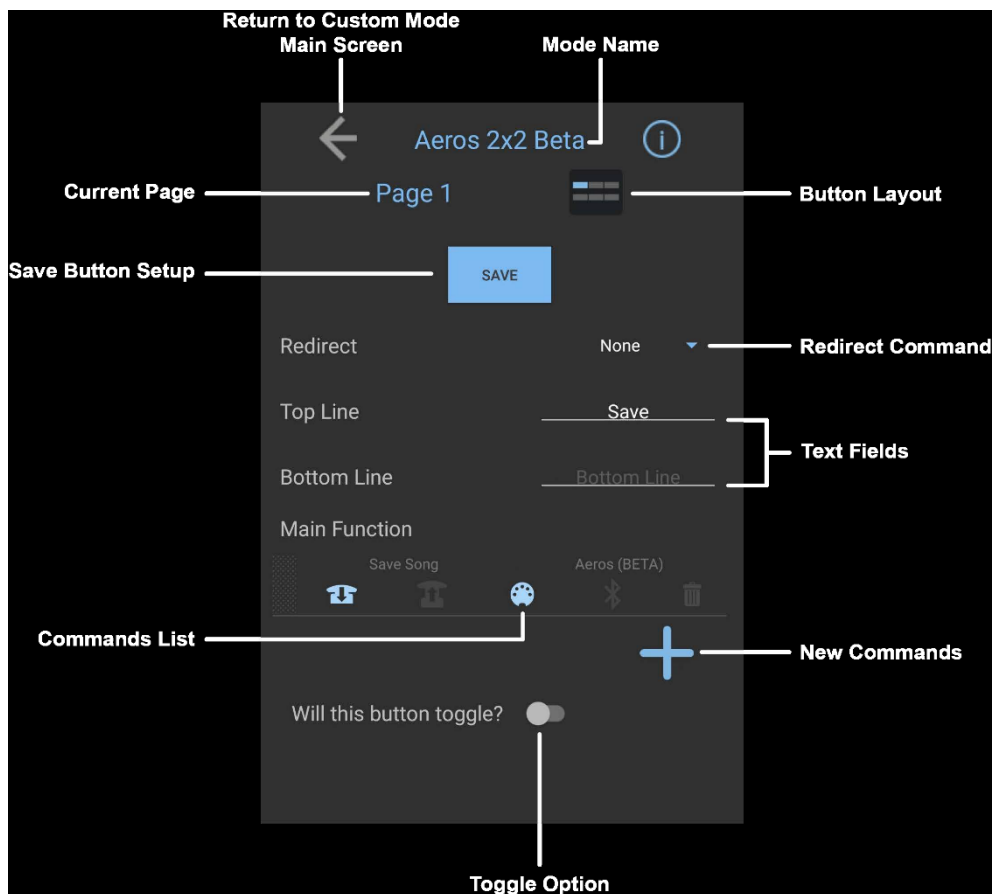
ページ、スロット、およびボタンのレイアウト

MM アプリのページは MIDI Maestro のページと同じです。つまり、MM アプリのページ 1 は、MIDI Maestro のページ 1 にのみ影響します。各 MM アプリページには 6 つのスロットがあり、6 つの MIDI Maestro 画面を表示します。青い左矢印と右矢印を押すと、ページを切り替えることができます。スロットは MIDI Maestro 画面に相当し、上部の 3 つの画面は左から右にスロット 1~3 に表示されます。下の 3 つの画面は、左から右にスロット 4~6 で表されます。各スロットは 1 つのボタンセットアップになります。

スロットを押したままにすると、個々のボタンセットアップをドラッグして再配置し、MIDI Maestro のボタンレイアウトを変更できます。スロットの左側にあるグラフィックを参照すると、どのスロットが MIDI Maestro のどの画面に対応しているかを確認できます。



ボタンの設定

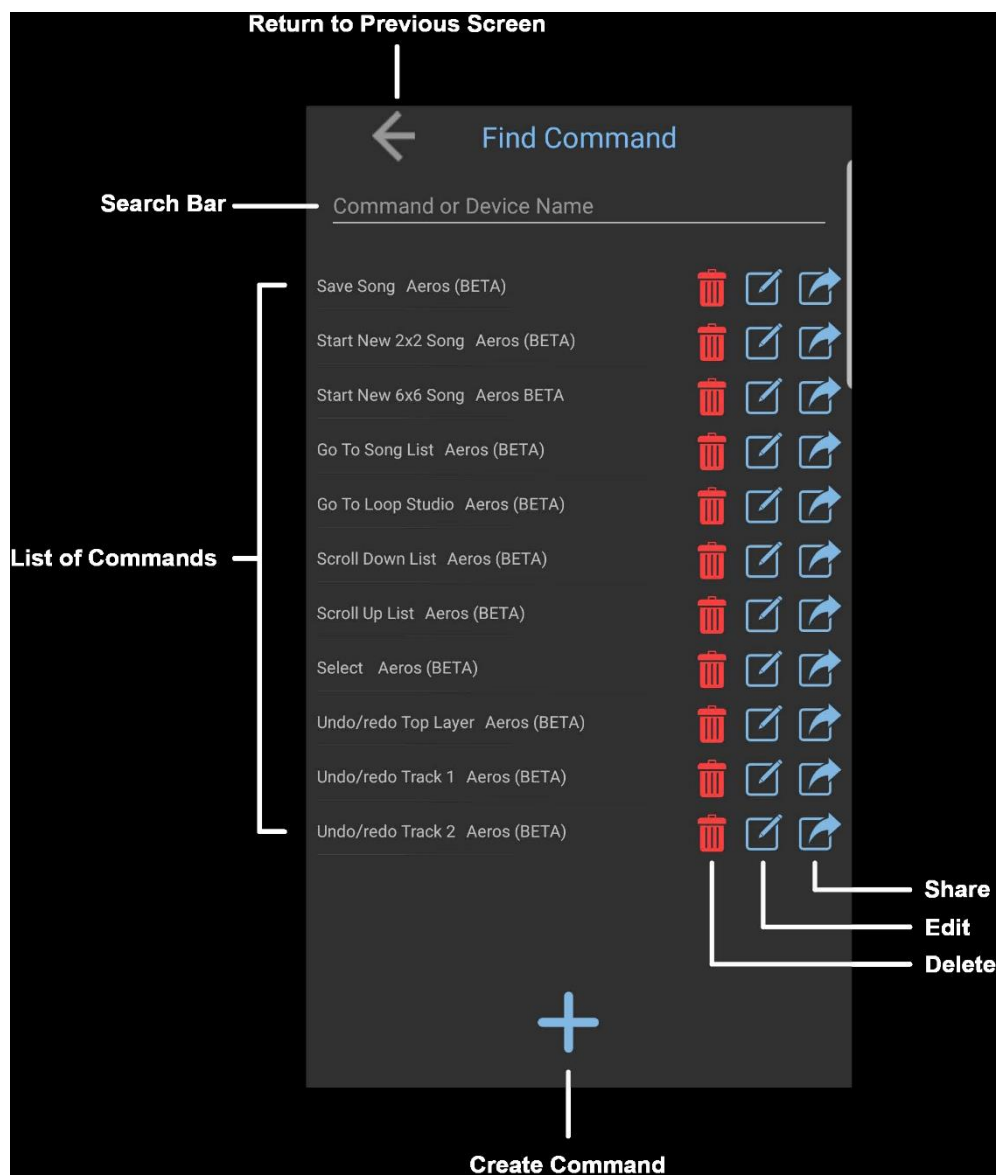



ボタン設定画面が表示されたスロットをクリックすると、この画面で上と下のテキストフィールドを使用してボタン設定に名前を付けることができます。ここに書き込んだテキストは、カスタムモードを MIDI Maestro にアップロードすると、対応する MIDI Maestro 画面に表示されます。これは、このボタンアクションで送信されるすべてのコマンドを追加する場所ということになります。ボタンアクションは、ボタンが一度押して放すという操作であることを忘れないでください。新しく追加したコマンドは、コマンドリストに配置されます。




押す、放すという操作で最大 32 個のコマンドを配置でき、ボタンは 2 つの状態(各状態で最大 32 個のコマンド)を切り替えることができます。トグル状態ごとに最大 4 つのコマンドを BLE コマンドとして送信するように設定することもできます。1 つのボタンで最大 64 個のコマンドを MIDI Out 経由で送信するオプションがあります。コマンドを追加するには、画面の右下にある大きな青いプラス記号を押して、My Command 画面に移動します。

トグルが有効になっている場合、新しいボタンのアクション状態に独自の名前を付けることができます。例えば、最初の状態には Pause という名前を付け、2 番目の状態には Unpause という名前を付けることができます。このような設定にすると、MIDI Maestro の画面は、ボタンを押すたびに切り替わります。

マイコマンド画面

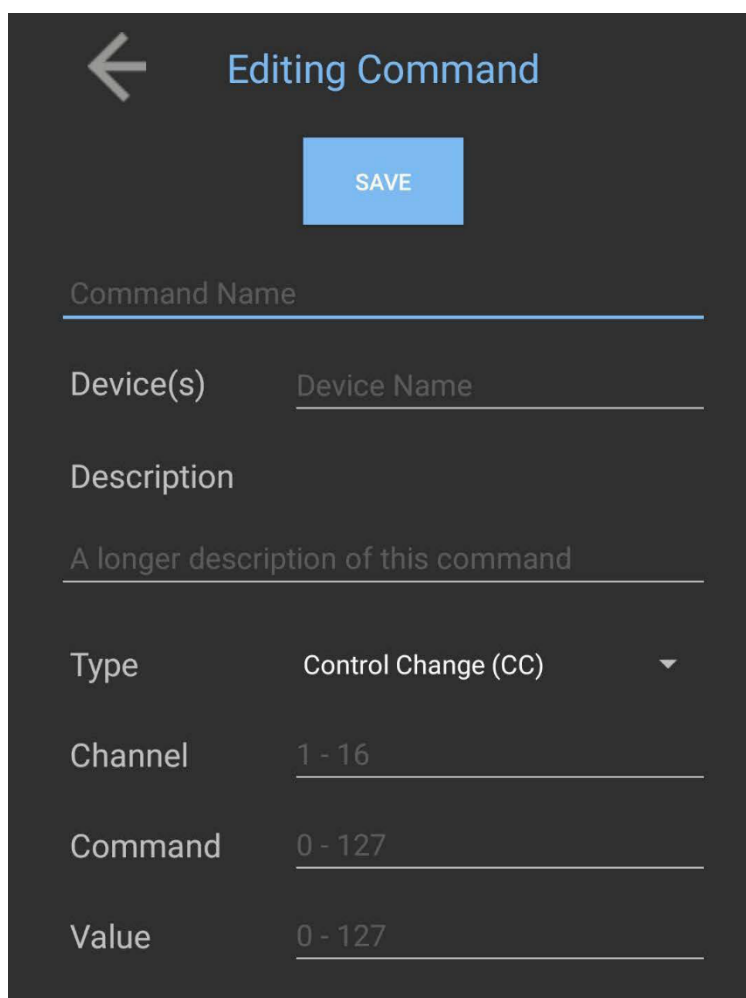


ここには、ローカルに保存されているすべてのコマンドのリストが、追加された順序で表示されます。この画面から、上図の青いプラス記号を押すと、新しい空白のコマンドが作成されます。検索バーを使用して検索できます。

また、上図の edit アイコンを押して既存のコマンドを編集したり、上図のアイコンを押してコマンドを削除したり、他のユーザーがダウンロードできるように、上図のアイコンを押してコマンドを Singular Sound server にアップロードしたりすることもできます。

コマンド編集

新しいコマンドを作成すると、空のフィールドを含む次の画面が表示されます。テキストフィールドに適切な情報を入力します。



← Editing Command

SAVE

Command Name

Device(s) Device Name

Description

A longer description of this command

Type Control Change (CC) ▾

Channel 1 - 16

Command 0 - 127

Value 0 - 127

共通フィールド

- ・Command Name-コマンドの名前を作成します。
- ・Device(s) -このコマンドがマップされるデバイスに名前を付けます。
- ・Description-このコマンドの機能を説明します。
- ・Type-送信する MIDI メッセージのタイプ(CC、PC、PB、ノートオン/オフ)を選択します。
- ・Channel-このコマンドが送信される MIDI チャンネルを選択します。

特定のフィールド

Control Change (CC):コントロールチェンジ

Type	Control Change (CC) ▼
Channel	1 - 16
Command	0 - 127
Value	0 - 127

- ・Command -特定の CC コマンド番号です。
- ・Value -特定の CC コマンドの値です。

Program Change (PC):プログラムチェンジ

Type	Program Change (PC) ▼
Channel	1 - 16
Value	0 - 127

- ・Value-特定の PC コマンドを設定します。

Note On/ Off:ノートオン/オフ

Type	Note On	▼
Channel	1 - 16	_____
Note	0 - 127	_____
Velocity	0 - 127	_____


- ・Note-受信デバイスによって再生されるノートを設定します。中央の C = 60 で、半音は1単位です。
- ・Velocity-ノート再生のベロシティを設定します。数値が大きいほど音が大きくなります。

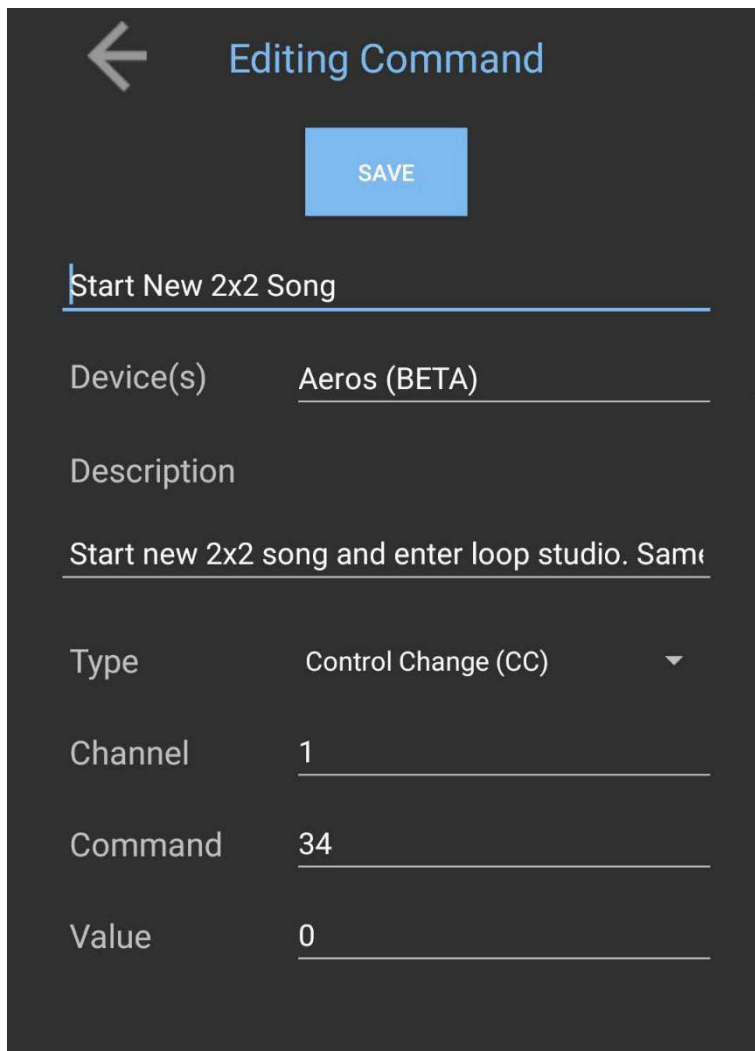
Pitch Bend (PB) :ピッチベンド

Type	Pitch Bend	▼
Channel	1 - 16	_____
MSB	0 - 127	_____
LSB	0 - 127	_____

- ・MSB-MSB バンクを選択します
- ・LSB-LSB バンクを選択します

既存のコマンドの編集

このアイコンを押すと、マイコマンド画面から既存のコマンドを編集できます。マイコマンド画面にアクセスするには、My Commands を押すか、Button Setup でコマンドを追加します。



← Editing Command

SAVE

Start New 2x2 Song

Device(s) Aeros (BETA)

Description

Start new 2x2 song and enter loop studio. Sam


Type Control Change (CC) ▾

Channel 1

Command 34

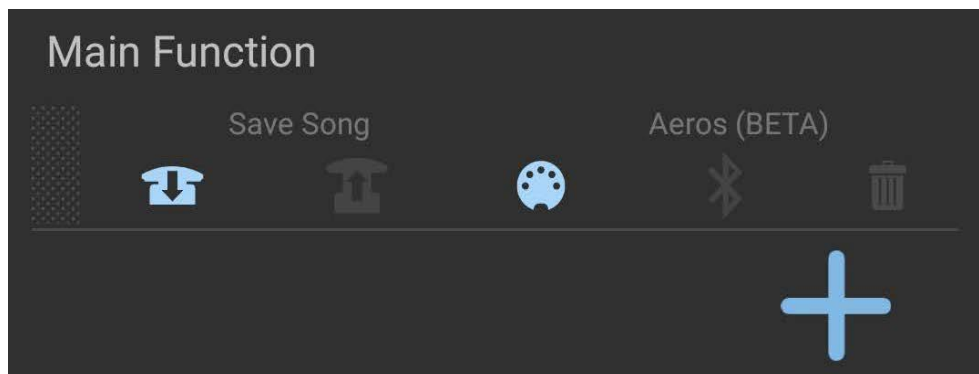
Value 0

既存のコマンドを削除する

コマンド画面でゴミ箱アイコンを押して、コマンドを削除することもできます。

コマンドリストの編集

Button Setup に追加する各コマンドには、以下に示す 5 つのインタラクティブシンボルが表示されます。



コマンドが追加されたら、コマンドの任意の場所を押し続けると、ドラッグして再編成できます。コマンドは上から下の順に送信されます。

コマンドリストは、Trigger(メッセージの送信要因)、Medium(メッセージの送信方法)、Remove オプションという3つの部分に分かれて送信されます。

Trigger

On-Press-このコマンドは、MIDI Maestro ボタンが押されたときに送信されます。押したときに最大 8 つのコマンドを送信できます。

On-Release-このコマンドは、MIDI Maestro ボタンを放したときに送信されます。放したときに最大 8 つのコマンドを送信できます。

Medium

Via-MIDI Out-このコマンドは、MIDI Maestro の MIDI Out ポートを介して送信されます。

Via-BLE MIDI-このコマンドは、MIDI Maestro から BLE (Bluetooth Low Energy) MIDI を介してワイヤレスで送信されます。機能させるには、BLE-MIDI 接続が必要です。トグル状態ごとに最大 4 つのコマンドを送信できます。

Remove

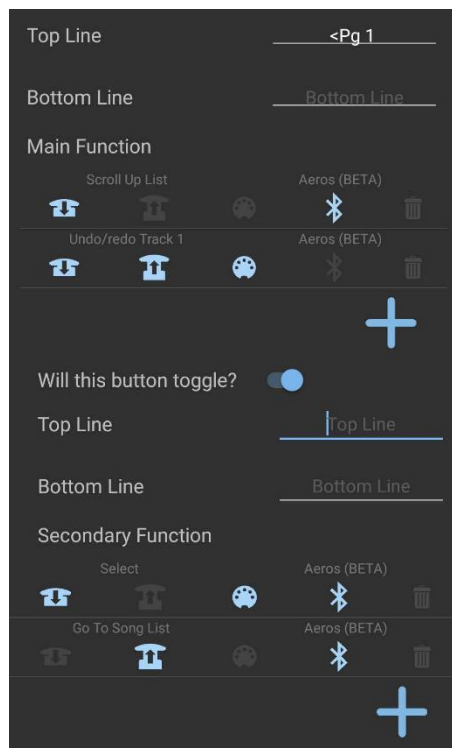
Button Setup が保存されると、このコマンドはコマンドリストから削除されます。

Button Setup が保存されると、すべての変更が適用されます。

SAVE

Toggle

ボタン設定にトグルが含まれている場合、以下に示すように 2 つのコマンドリストが表示されます。各ボタンアクション(プレス/リリース)には最大 16 個のコマンドを含めることができます。

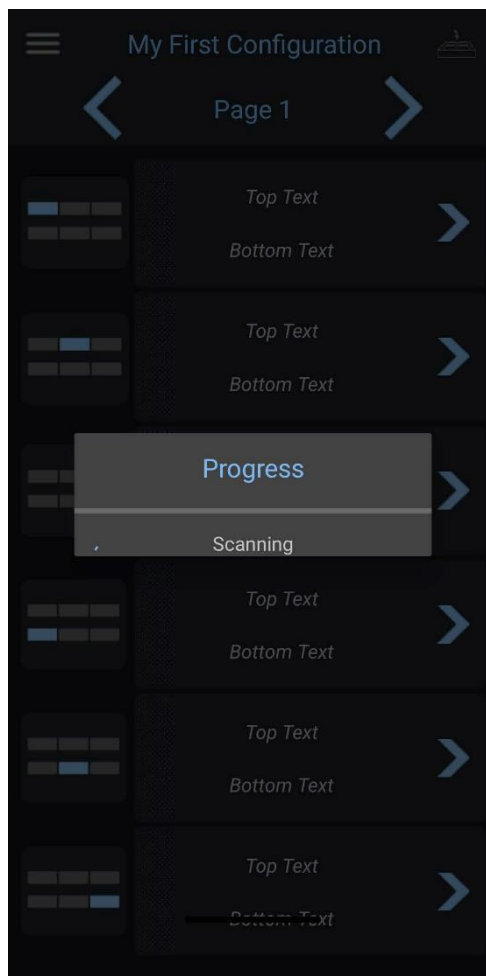


変更された Button Setup を終了する前に、Edit Button Setup 画面の上部にある SAVE を必ず押してください。

MIDI Maestro へのアップロード

アプリでカスタムモードのマッピングが完了したら、MIDI Maestro にアップロードすることができます。MIDI Maestro の電源を入れ、フロントパネルの青い LED ライトが点滅するまで、バックパネルのペアリングボタンを押します。次に、MM app を使用して、画面の右上隅にある Upload ボタンを押してアップロードを開始します。


アプリにはアップロードの進行状況バーが表示され、完了すると「write completed」と表示されます。



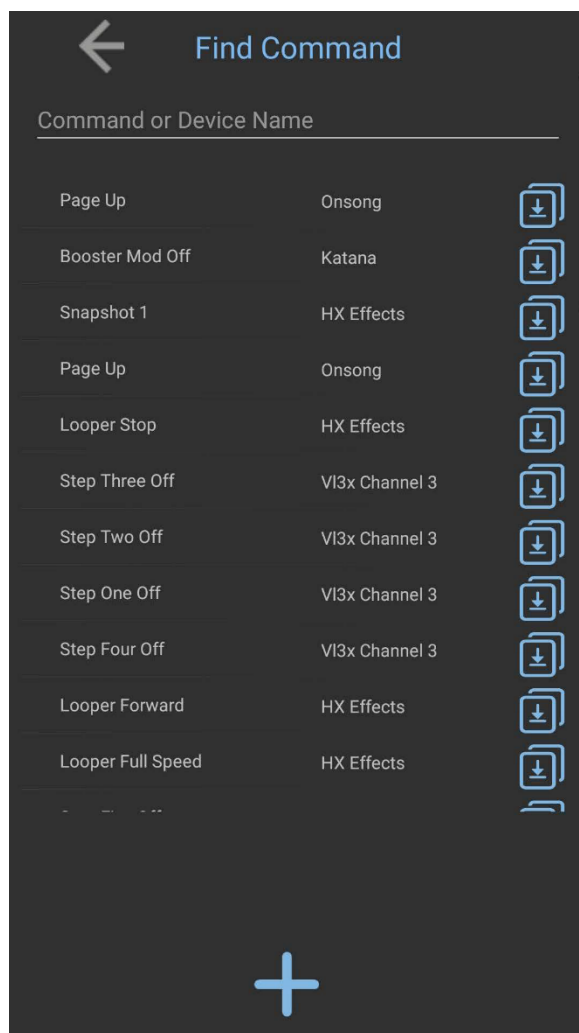
問題が起こった場合には、接続した状態で MM アプリを再起動してみてください。それでも問題が解決しない場合は、MIDI Maestro をオフにして、スマートフォンの Bluetooth の電源を入れ直してみてください。


モードとコマンドの共有とダウンロード

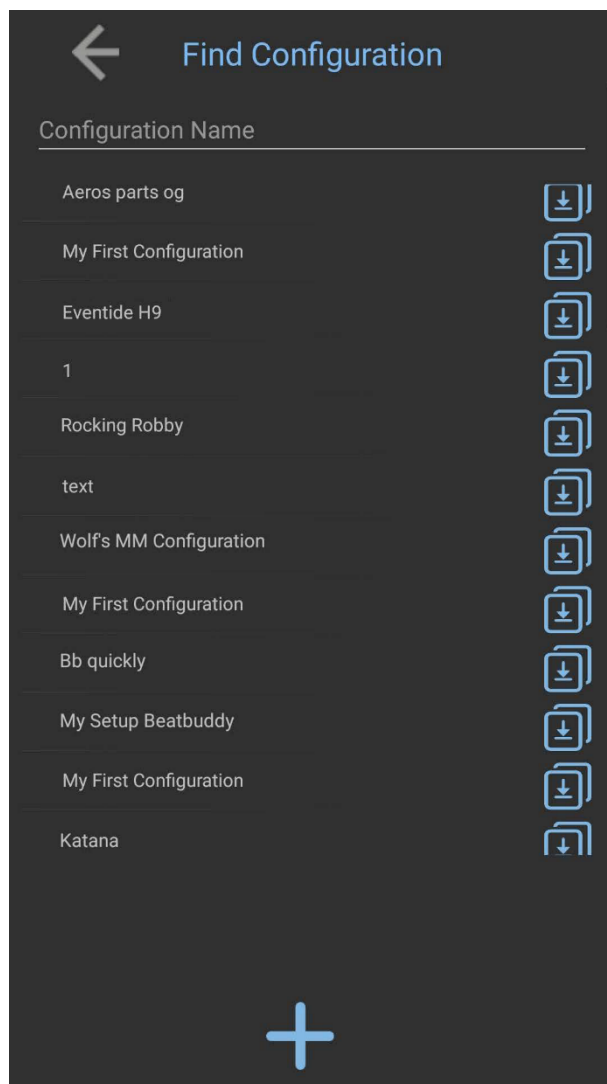
カスタムモードとコマンドは、他のユーザーがダウンロードできるように共有できます。

コマンドを共有するには、メインメニューから、またはボタン設定にコマンドを追加するときにアクセスするマイコマンド画面を開く必要があります。share ボタンを押してコマンドを共有します。

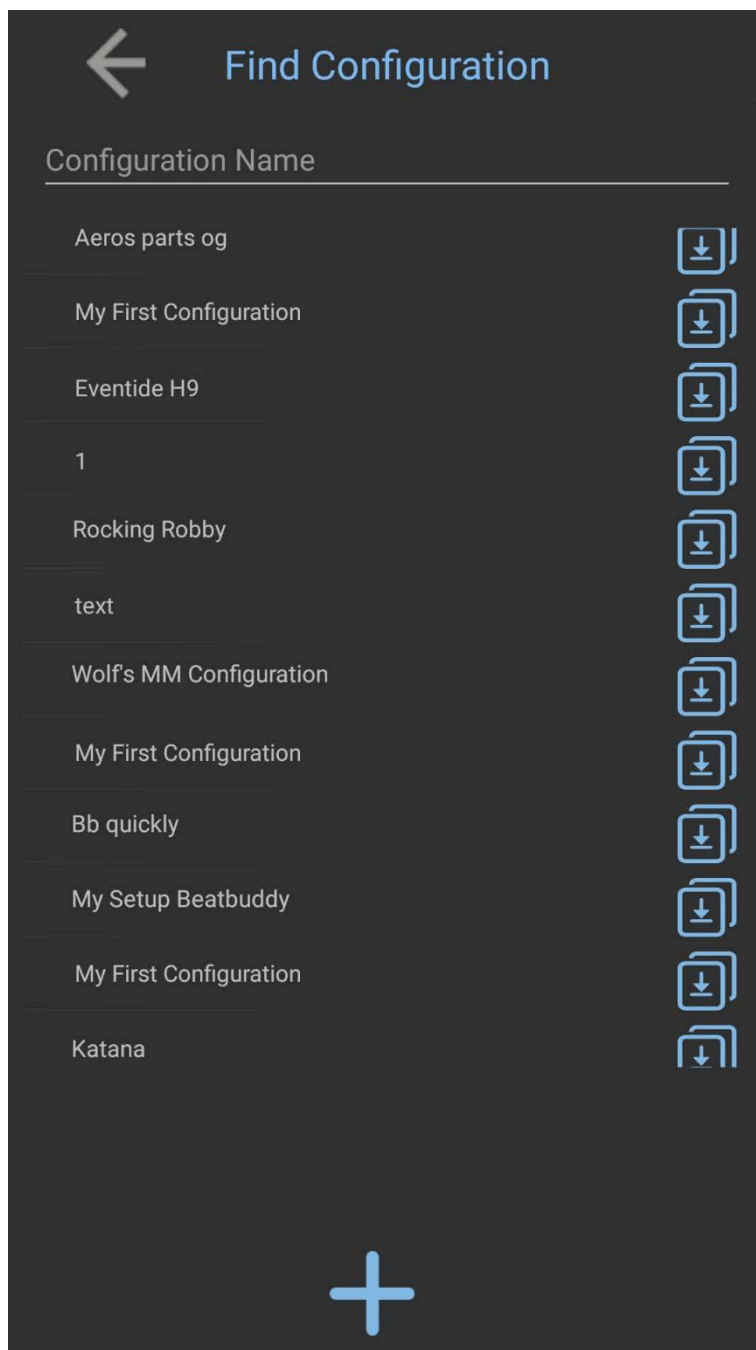
同様に、マイカスタムモード画面に移動してshare ボタンを押すと、カスタムモードを共有できます。



コマンドをダウンロードするには、メインメニューからコマンドライブラリーページに移動します。コマンドは、デバイスまたは名前で検索できます。コマンドを見つけたら、ダウンロードボタンを押してマイコマンド画面に追加します。



カスタムモードをダウンロードするには、メインメニューから Custom Modes Library ページに移動すれば、名前でカスタムモードを検索できます。モードを見つけたら、ダウンロードボタンを押してマイカスタムモード画面に追加します。



仕様

サイズ

212.7 mm x 146 mm x 47.6 mm (W × L × H)

重さ

794 g

ボタン/端子

電源ポート (9V: センターマイナス)

外部ペダル入力

エクスプレッションペダル入力

ペアリングボタン

モードボタン

MIDI IN/OUT

* 参考動画リンク

MIDI Maestro と BeatBuddy

<https://youtu.be/UNyhGfJfEU>

MIDI Maestro と AEROS

https://youtu.be/j5CgJ_SPVyA

MIDI Maestro と BeatBuddy + AEROS

https://youtu.be/-8Hz_ng54dg